

2025年度 学外者（卒業生の就職先等）への意見聴取報告書

1. 意見聴取日及び対象者

- (1) 2025年7月 9日（水） 道内私立高等学校 教頭
- (2) 2025年7月 9日（水） 道内公立高等学校 教頭
- (3) 2025年6月 27日（金） ITサービス系株式会社 人事総務部長
- (4) 2025年7月 3日（木） 複合サービス事業非営利団体 地域政策室長

2. 本学の卒業生に対する評価、学生に期待すること、教育成果、社会が求めている能力等について(主な意見)

(1) 本学卒業生の評価・イメージ

- ・素直で誠実、協調性が高く、性別に偏らない価値観を持った学生が多い点が評価されている。
- ・英文、福祉分野は伝統と実績があり、分野の強みとして広く認識されている。

(2) 学生に期待すること

- ・学問を『アカデミック』と『実践（実学）』のいずれか、または両立として意識し、自身の志向を言語化できること。
- ・自己理解を深め、環境変化に柔軟に対応しながら主体的に学ぶ姿勢。
- ・正確に意思疎通を図るコミュニケーション力や、組織の中で調整・協働できる力。

(3) 教育課程・学修成果への評価

- ・専門的知識そのものだけでなく、学び方・考え方が社会で活きている点が評価されている。
- ・プレゼンテーションや発表を通じた『伝える力』の育成は、今後さらに期待されている。
- ・英語や情報分野など、一部分野では即戦力性を感じる卒業生も見られる。

(4) 社会が求める能力

- ・基礎的な学力を土台とした論理的思考力。
- ・多様な立場の人と協働するための調整力・マネジメント力。
- ・専門性に加え、柔軟に学び直し続ける姿勢。

(5) キャリア教育・社会連携への期待

- ・講義型に加え、対話・体験型のキャリア教育への期待が高い。
- ・企業・地域と連携した実践的な学びは、学生の自己理解を深める機会として有効。
- ・地域課題やSDGsに直結した取り組みは、本学の教育理念との親和性が高い。

(6) 今後に向けた期待

- ・教育内容や学科の特色を、学修成果や進路実績と結び付けて分かりやすく発信すること。
- ・国際・情報分野など新たな展開について、既存の強みを活かした明確なメッセージが期待される。
- ・キャンパス環境や学内外への情報発信を通じ、本学の魅力をより一層可視化すること。

以上